

進路だより

No.3 令和3年 6月 9日
倉敷市立倉敷支援学校 進路指導担当

☆学校生活を通して見えた進路指導☆

今号では、学校生活の様子から、卒業後に必要な力を考えてみたいと思います。



色・形の弁別学習



部品の仕分け仕事

まずは、高等部のリサイクル班のために、ペットボトルや空き缶を持って来てくれる、小学部5年生の児童です。登校後、靴を履き替えた後、リサイクルボックスまで行き、空き缶とペットボトルを仕分け入れています。

この行動ができるためには、小学部の学習でよく取り組んでいる色や形の弁別学習が下支えする力になっています。この場合は、ペットボトルとアルミ缶という素材の異なる2つのものを弁別しています。そして、高等部になって実際に工場などで部品の仕分けを行うときの基礎になっています。

また、職員室に配付物を取りに来るといふ活動には、小学部から高等部まで多くの児童・生徒が取り組んでいます。「失礼します。〇〇部□年△組の〇〇〇〇です。配付物を取りに来ました」と、挨拶をして入室します。小学部の児童は、当初、「〇〇ですっ!!」と言いながら、駆け足で職員室に駆け込んでいましたが、写真にあるように、挨拶をする場所を視覚的に示したり、教員が見本を示したりすることで、きちんとした礼をすることができるようになってきました。

企業の人事担当者からは、「細かく複雑な仕事ができること」よりも「まずは、挨拶や言葉遣いがきちんとできること」が、採用に当たっての重要な観点の一つであると言われます。



挨拶する場所の支援



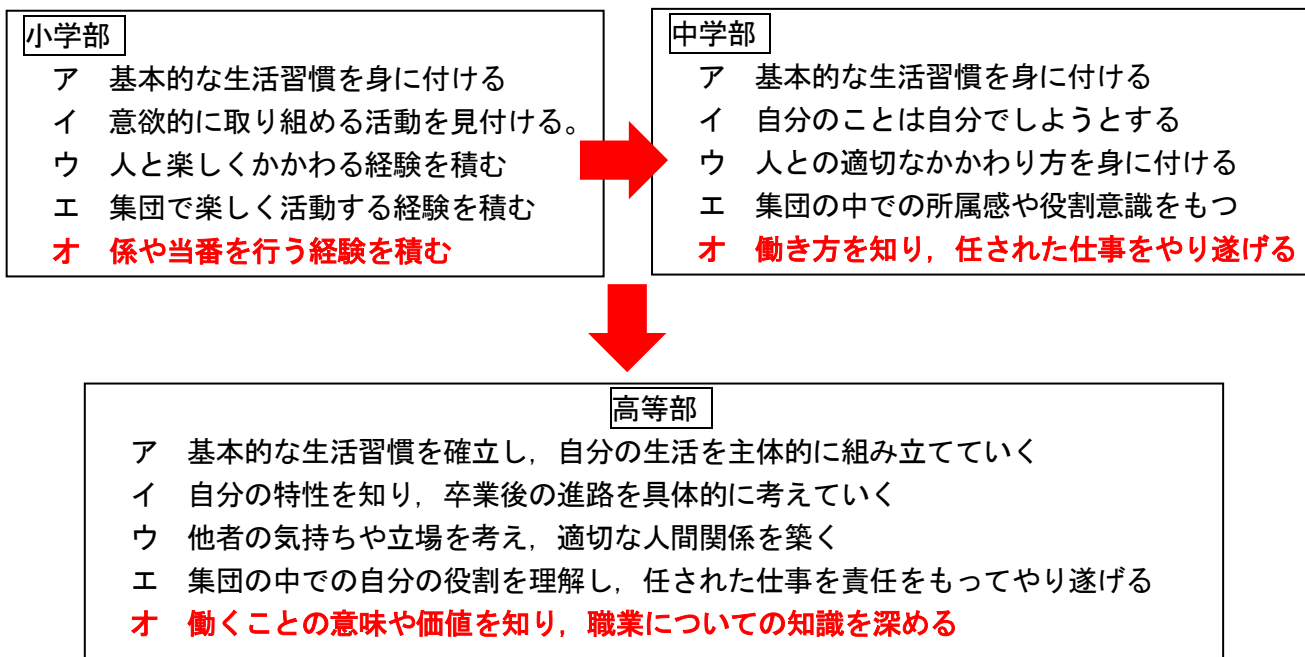
▲貴重品を運んでいます。




▲配布物をとっています。

▲職員室に入室するところ

本校では、下の表で示すように、卒業までに身に付けてほしい力を各学部で段階的に指導しています。今回ご紹介した活動は、「才」に当たります。ぜひ、ご家庭でも学校と連携しながら「働く力の基礎」になる部分を育てていただけたらと思っています。




☆学区にできた新規事業所を紹介します☆



特定非営利活動法人 彩 irodori HOME (生活訓練)
倉敷市中畝10丁目9-12 (2021. 6. 1 開所)

■活動内容

- ・日常生活能力支援
- ・就労スキル
- ・ソーシャルスキル
- ・余暇活動など



irodori HOME は、将来社会の中で自立した生活を送るために必要な生活能力や、就労に必要な基礎的な社会能力などを身に付けることに特化した支援事業所です。家屋環境を生かした、掃除、洗濯など日常生活能力支援などを行います。

*見学の希望がありましたら、必ず担任に伝えてください。 学校で見学日時の調整をし、見学の期日等をお伝えします。**(個別に事業所へ連絡されるのはご遠慮ください)**

*調整する期間が必要ですので、希望する日時については、翌週以降で複数日教えてください。

*今回ご紹介した施設のパンフレットは、進路指導室にもあります。興味のある方は担任か進路担当までお伝えください。